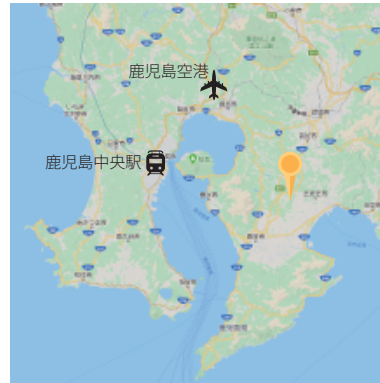




自然環境に配慮する観点から、  
造成を最小限に抑えて  
地形をそのまま利用した  
「環境調和型」の発電所を  
目指しました。



### 所在地 地図



- 鹿児島空港から車で約90分(野方I.C.)
- 鹿児島中央駅から車で約100分(桜島フェリー使用の場合)



- 管理棟**
- 野方I.C.から車で約15分
- 展望台**
- 管理棟から車で約5分
  - ※赤色の鳥居が入口目印です



### 管理棟

- 所在地  
鹿児島県曾於郡大崎町野方志曾木290番地36
- 電話番号  
Tel.099-478-2721



敷地面積  
約2,250,000m<sup>2</sup>

太陽電池  
356,928枚

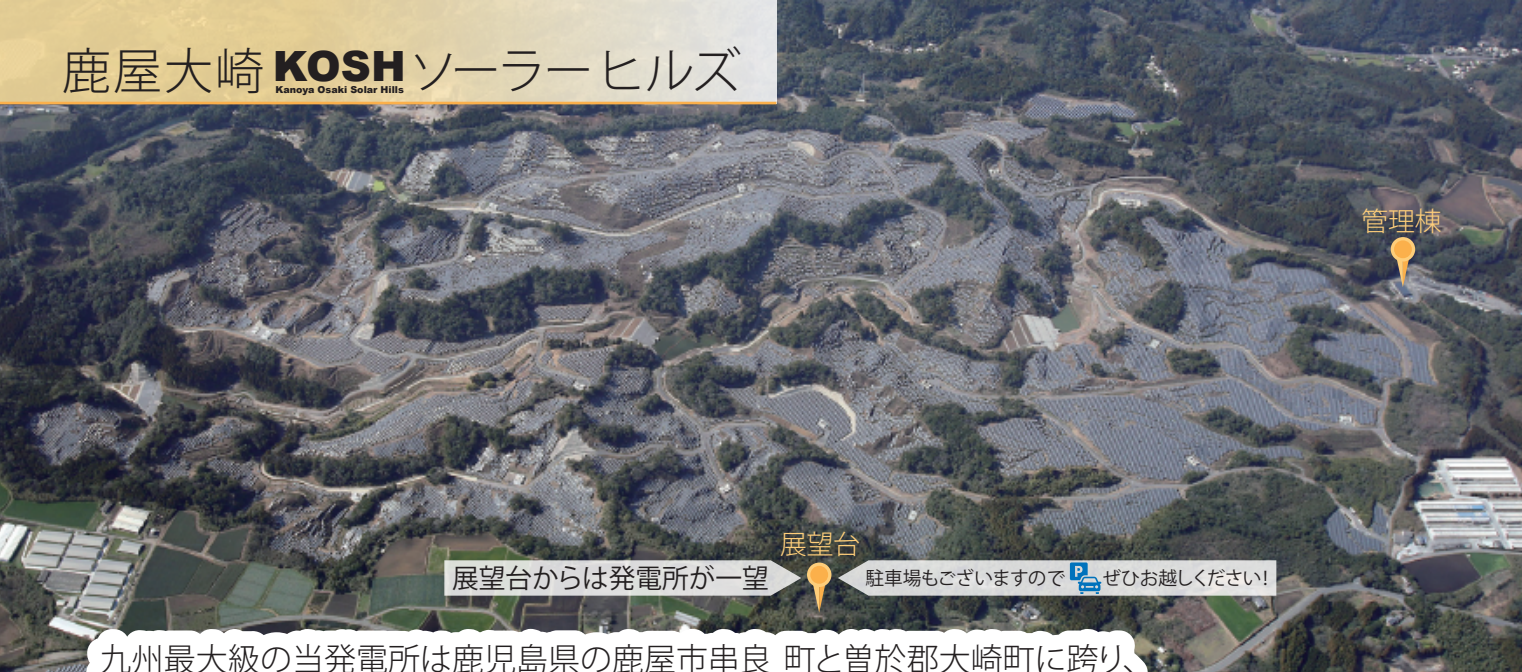
年間CO<sub>2</sub>削減量  
約62,420t

**KOSH**  
Kanoya Osaki Solar Hills

発電能力  
約100MW

年間予想発電量  
約117,000MWh

鹿屋大崎ソーラーヒルズ合同会社



九州最大級の当発電所は鹿児島県の鹿屋市串良町と曾於郡大崎町に跨り、30年以上前にゴルフ場建設計画が中止された土地であるとともに、地元において有効活用が望まれていた土地に建設したものです。

## 発電所概要

- 所在地  
鹿児島県鹿屋市串良町細山田及び曾於郡大崎町野方
- 事業会社  
鹿屋大崎ソーラーヒルズ合同会社  
〔(株)GF、京セラ(株)、(株)九電工、東京センチュリー(株)〕
- 運転開始日  
2020年3月10日
- 電力販売先  
九州電力株式会社
- EPC企業  
(株)九電工・(株)GF建設工事共同企業体
- 工期  
2017年4月3日～2020年3月9日
- O&M企業  
(株)GF・(株)九電工共同企業体
- 年間予想発電量  
約117,000MWh

## ドローン空撮動画をご覧いただけます



QRコードを携帯電話のカメラ読取機能を利用して、簡単アクセス



## 構造概要

- 発電能力  
約100MW
- 売電容量  
75.64MW
- 敷地面積  
約2,250,000m<sup>2</sup>
- 太陽電池  
京セラ製 275W・285W×356,928枚
- PCS  
660kW×54台(A系統)、1,000kW×40台(B系統)
- 接続箱  
1,735台
- 基礎杭  
71,282本
- 架台  
16,224アレイ
- 変電設備  
特高110kV×1基、中間変電所22kV×20基

## 森林開発を最小限に抑えた開発

- 自主的に環境影響調査を行っており、動植物・騒音等も配慮して施工を行いました。
- 自然環境に配慮した施工方法を採用しています。

造成を最小限に抑える工法

- ▶ 木を抜根せず、そのままの山の形状を活かした自然に優しい施工をしています。

太陽光パネルを山の形状に合わせて設置

- ▶ 急傾斜地にも太陽光パネルを設置出来る技術で施工しています。(杭打ち工法)

多段式調整池を採用(鹿児島県では初)

- ▶ 多段式の調整池は鹿児島県初で、県の許可指針となる形で協議してきました。また、2016年頃から県は調整池をコンクリート構造物でないと許可しない方針になっていましたが、自然に優しいというコンセプトにご理解をいただき、土堰堤で湛水部法面に張コンをしない形で許可をいただきました(透水率をボーリング調査した結果を踏まえています)。